

各関係機関の長
各病虫害防除員 殿

宮崎県病虫害防除・肥料検査センター所長

令和6年度病虫害発生予察注意報第3号について

令和6年度病虫害発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

令和6年度病虫害発生予察注意報第3号

果樹カメムシ類の発生量が多くなっています。果樹園への飛来が確認されたら、速やかに防除を行いましょう。

- 1 病虫害名 : 果樹カメムシ類 (ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ)
- 2 作物名 : 果樹全般 (かんきつ類、かき、なし)
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : 多

5 注意報の根拠

- 1) 県内3箇所に設置しているフェロモントラップ (都農町、延岡市、宮崎市) による誘殺数調査 (6月6半旬～7月5半旬) では、ツヤアオカメムシ及びチャバネアオカメムシともに平年より多くの誘殺が確認されている (表1、図1)。
- 2) 県内5箇所に設置している (国富町、延岡市、都城市、日南市、宮崎市) 予察灯による誘殺数調査 (6月6半旬～7月5半旬) でも、ツヤアオカメムシ及びチャバネアオカメムシの誘殺数が平年より多くなっている (表2、図2、3)。
- 3) 県内の果樹園地 (なし、かんきつ等) において飛来が確認されており一部園地では果実被害も確認されている。また、果菜類への飛来事例も確認されている。

6 防除上の注意

- 1) カメムシは園外から飛来し、地域や時期によって発生量が大きく変動する。多飛来を見てからの防除では手遅れとなるので、園内外を見回り、早期発見、早期防除に努める。
- 2) 果樹園に侵入したカメムシは、集合フェロモンにより、同種を大量に誘引し被害が拡大するおそれがあるので十分注意する。
- 3) 収穫中もしくは収穫時期に近い品目については、農薬の使用回数や収穫前日数に注意し防除を行う。

表1 フェロモントラップにおける誘殺数 (6月6半旬～7月5半旬、単位:頭)

	ツヤアオカメムシ			チャバネアオカメムシ		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
延岡市	27.3	0.1	多	900.3	263.3	やや多
都農町	93.3	0.3	多	9922.3	564.2	多
宮崎市	13.0	2.4	多	4015.6	44.4	多

表2 予察灯における誘殺数（6月6半旬～7月5半旬、単位：頭）

	ツヤアオカメムシ			チャバネアオカメムシ		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比
国富町	23.0	7.4	多	38.0	10.6	やや多
延岡市	39.0	4.2	多	240.0	37.5	多
都城市	21.0	5.1	多	27.0	23.4	やや多
日南市	529.0	68.8	多	79.0	22.6	多
宮崎市	23.0	0.3	多	82.0	0.6	多

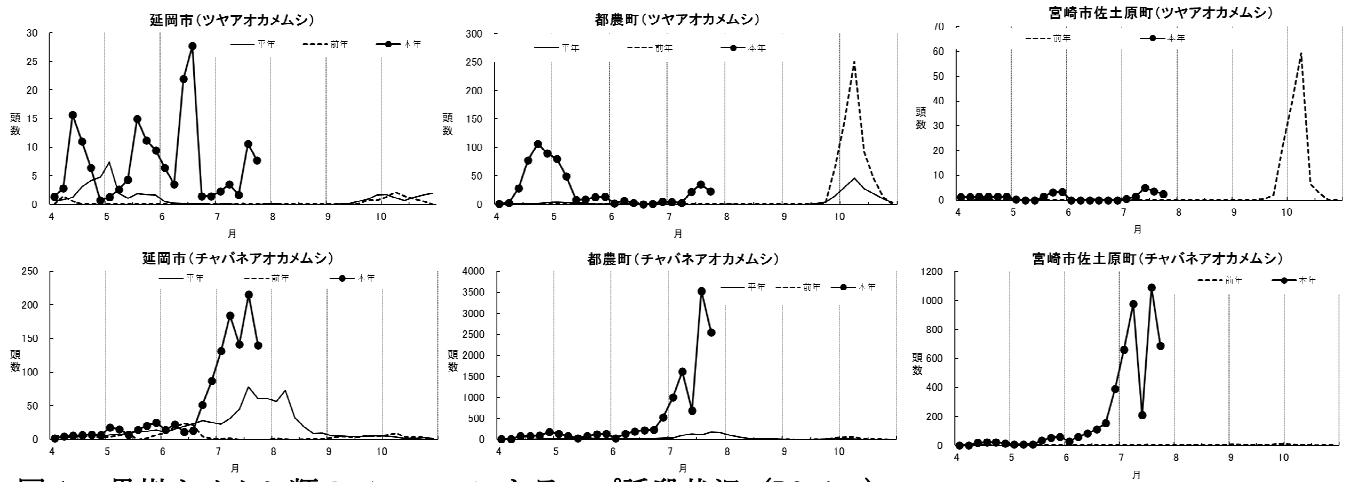


図1 果樹カメムシ類のフェロモントラップ誘殺状況 (R6.4～)

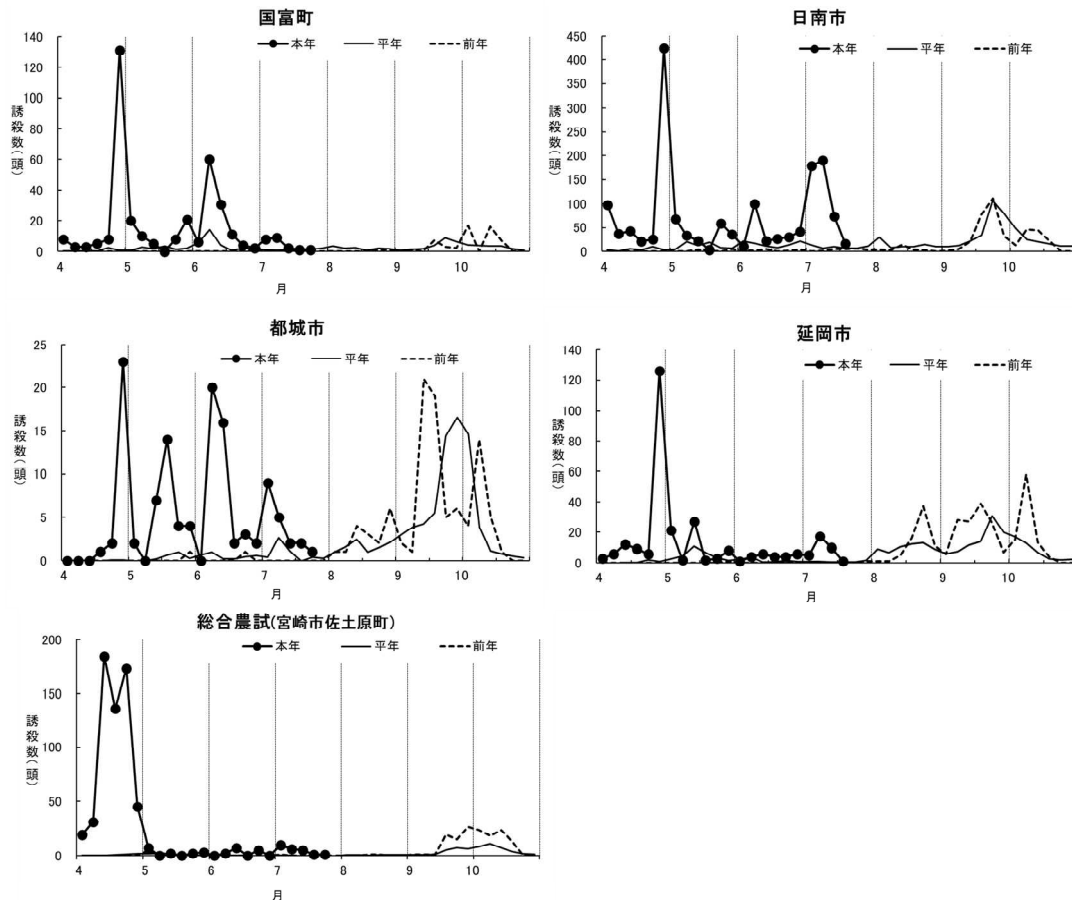


図2 予察灯におけるツヤアオカメムシの誘殺状況 (R6.4～)

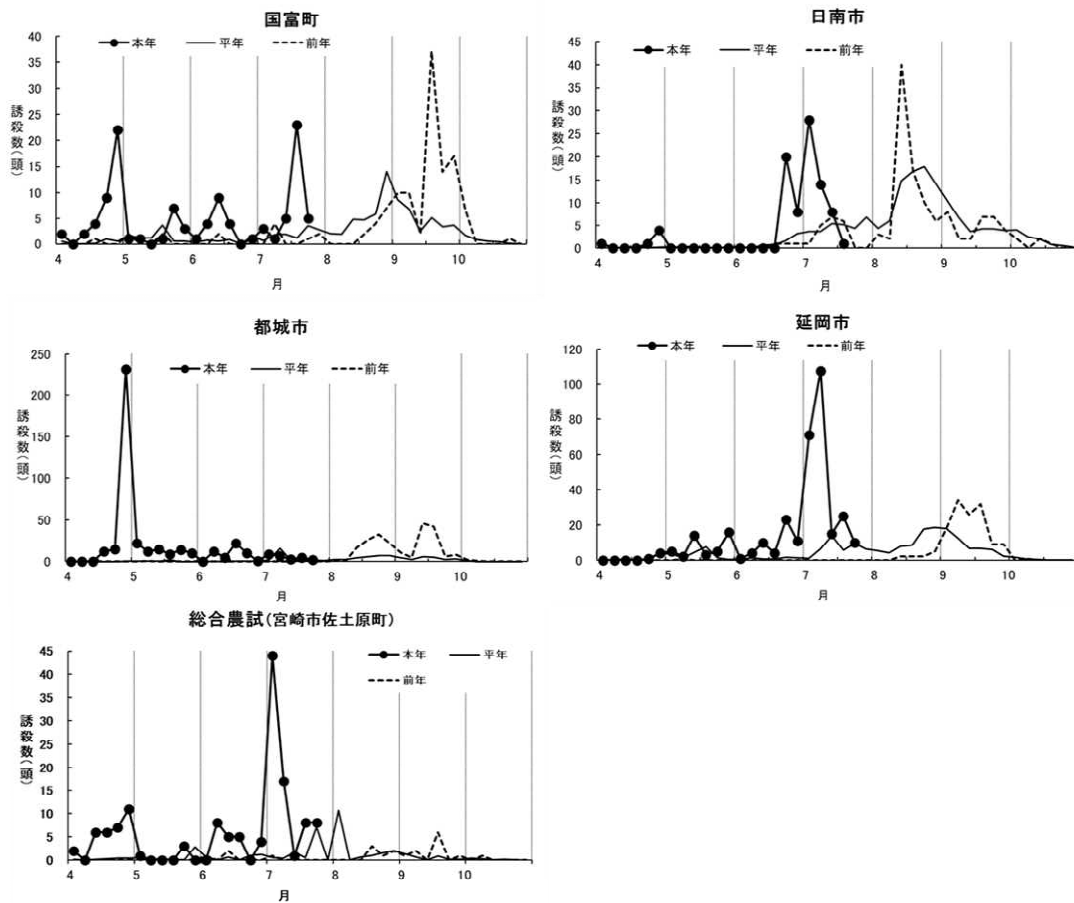


図3 予察灯におけるチャバネアオカメムシの誘殺状況 (R6.4~)

7 その他

6月1日から8月31日の3か月間は、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベルの登録内容の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
(病虫害防除・肥料検査センター) 松浦、久野

TEL : 0985-73-6670 FAX : 0985-73-2127

E-mail : byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

HP: https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html

